

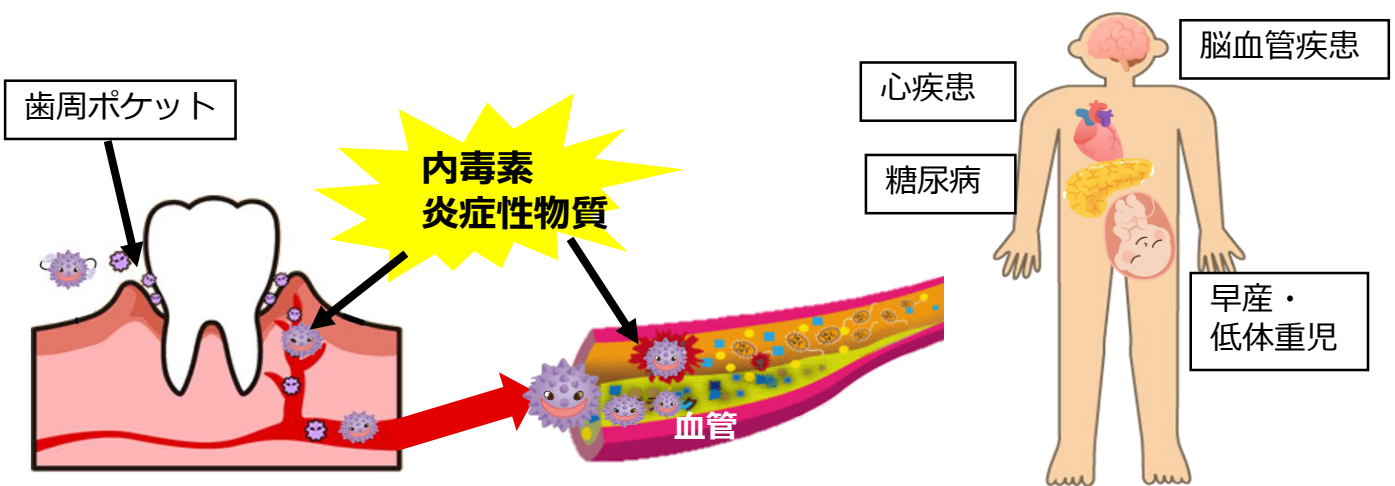
歯科衛生室だより

歯周病と全身疾患との関わり

歯周病は歯垢の感染により引き起こされる慢性の炎症性疾患です。歯垢には歯周病菌を含め、多種多様の細菌が含まれており、1 g あたり1000億個の細菌が生息していると言われています。歯周病が進行すると歯と歯ぐきの隙間が深くなり、歯周ポケットが形成されます。その歯周ポケットの中で増殖した細菌は内毒素を放出して歯周組織を破壊していきます。その**内毒素**や、**炎症反応により産出された物質**などが**歯周ポケット内の血管から容易に体内に侵入**し全身の各器官に散らばっていき、その到達した先々で問題を引き起こしてしまいます。心臓の内膜に付着すると**心内膜炎**という心臓病を引き起こしたり、血管を狭める作用を促進してしまうとも考えられており、**虚血性心疾患**や**脳血管疾患**のリスクを高めてしまう可能性があります。また**早産**や**低体重児出産**、**糖尿病**なども**歯周病がその発症に影響を及ぼしている**と言われています。



歯周病による内毒素や炎症性物質が血液に流れ込み全身をかけめぐり、その到達した先々で問題を引き起こしてしまうのです！



様々な全身疾患のリスクを一つでもなくすため、毎日の歯磨きや歯科医院でのメンテナンスをしっかりと行い、歯周病を予防しましょう！

